



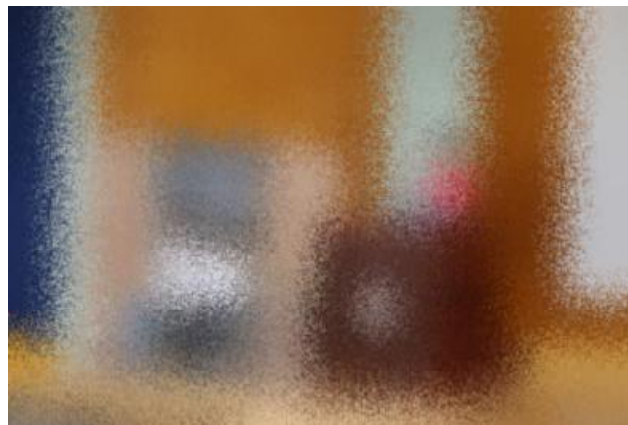
水 明

令和6年10月22日

<学校教育目標>

よりよく生きる ～ 夢 笑顔 学ぶ瞳 ～

- ◆夢に向かって努力する子ども
- ◆思いやりの心を持ち、明るい挨拶ができる子ども
- ◆自分の考えを持ち、伝え合うことができる子ども



前期終業式の児童発表

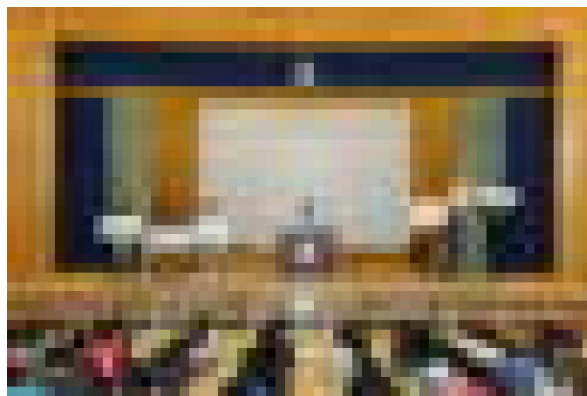
後期がスタートしました！

秋季休業が終わり、元気な子どもたちの声が校舎に響き渡っています。前期終業式では、2・4・6年生の代表児童が、これまでの自分を振り返り、前期頑張ったことや後期のめあてを堂々と発表しました。

私からは、学校教育目標「よりよく生きる～夢・笑顔・学ぶ瞳～」に向けて、三つの子どもの姿を伝えながら、これまでの自分を振り返り、後期のめあてとして、三つの子どもの姿を意識していくことを確認しました。また、6年生が、縁の下の力持ちとして様々な学校行事の準備をしていることなどを紹介しました。後期からは、学校のリーダーとしてするべきことを、少しずつ5年生へ下ろしていかなければなりません。そのために、6年生には、まだまだ学校のリーダーとしてのよき手本を見せてもらいたいと思います。

子どもたちにもお話しましたが、私がよく話す「挨拶」について、地域の方からうれしいお話が届きました。それは、いつも学校の周りを散歩している方のお話でした。散歩をしていると「こんにちは」と明るい挨拶をしてくれたり、夏の暑い日には、子どもたちから「今日は暑いですね。」と声をかけてくれたりして、とてもうれしいというお話でした。

私たちの見えない所でも、進んで地域の方へ挨拶をしている子どもたちがいるというのは、とてもうれしいことです。他にもたくさんいるかもしれません。私たちのところに届いていないだけで他にもあるかもしれませんが、こうしたお話は聞いているだけで心のエネルギーになります。プラスのエネルギーがいっぱいになるよう、言葉を大事にして、子どもも大人もみんながいきいきと活動できる学校にしていきたいと思います。保護者の皆様、後期もご協力とご支援をどうぞよろしくお願いいたします。



5年生と一緒に振り返りました



縁の下の力持ち！6年生

ぜんきにがんばったこと

二年A組 ○○○○

ぼくが、ぜんきにがんばったことは、べんきようです。

国語では、まいにちの音読や漢字のれんしゅうにいっしょうけんめいとくみしました。とくにかんじは、チャレンジテストにむけてノートにたくさん書いておぼえました。百点をとれたときはとてもうれしかったです。

算数では、とけいがにがてだったので、なんどもなんどもくりかえしもんだいをといたら、すこしずつですぐわかるようになりました。今、九九のれんしゅう中で、早くおぼえられるように家でもまいにちとりくんでいるところです。

一ばんすきなたいいくもがんばりました。とくにすいえいで、まだすこしかおよげませんが二十五メートルおよげるようになるのがめくひようです。こうきでは、二月にあるなわとびしゅうかいにむけてたくさんれんしゅうして、一年生のときよりもむずかしいわざにちようせんしたいです。

あすからの秋休みもじこに気をつけてすこし、こうきからも元気にがんばりたいと思います。

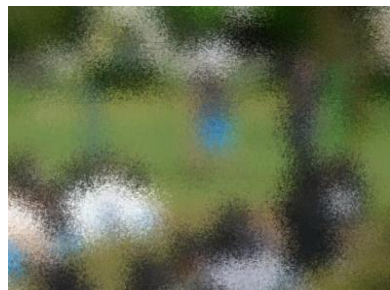


う思っているに違いない」「きつこう言っているはずだ」など、思い込みでのトラブルもいまだ見受けられます。これからの生活を通して、人との関わりで起こる様々なことを経験しながら、学校、家庭、地域で共に子どもたちの「心の成長」を促していけたらと思います。飯田川小学校の子どもたちが、今回のように自分たちで今できるよりよい方法を考えて行動できることは本当に素晴らしいことです。今後とも、子どもたちに関わる全ての皆様のご支援とご協力をよろしくお願いいたします。

避難訓練（休み時間編）

10月10日の昼休みの避難訓練は、子どもたちに実施する週だけを知らせて行いました。子どもたちは、無駄話をせず、早足で口にハンカチをあてながら避難し、素早く並ぶことができていました。グラウンドにいた低学年の子どもたちは、はじめ、どこに並ぶのか何列なのか分からず悩んでいる姿も見られました。こうしたことを確認するためにも避難訓練の意味はあります。「校長先生がいるから、今から避難訓練始まるんでしょ？」という子どもたちもいました。私がきたからといって、災害が起きていたら大変ですが……。避難時、私がグラウンドにはじめからいるとは限りません。災害はいつ起きるか分からないので自分たちで考えて行動する力も必要です。

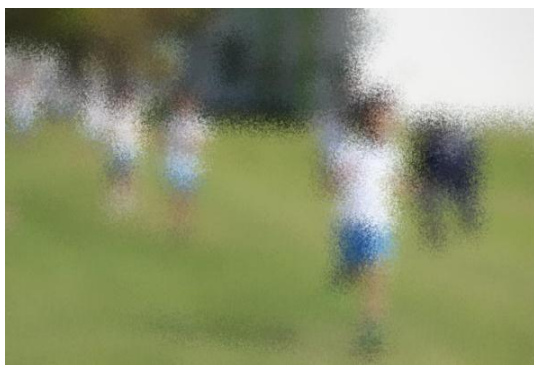
講評では、「放送や人の話をしっかり聞き、今何が起きているのかを知ること」など普段から、人の話を聞くことの大切さをお話しました。登下校中、地震が起きたら…、川が氾濫したらどうするのかなど普段から考えて行動することが必要になります。大人でも動揺しますので、子どもならなおさらです。地震が起きた場合、おうちの方と連絡が取れないときは、「〇〇に行くこと」などを、ご家族で確認しておくことも大事ですね。



実りの秋～頑張った持久走大会(10/10)～

大雨により、延期となった3年生以上の持久走大会。当日は、さわやかな秋晴れのもと、全力で走る子どもたちの姿が見られました。

3年生以上の子どもたちは、延期になってからの一週間分の練習を含め、長休みに自主練習をしている子どもたちもいました。「持久走」と聞くと、「えー。嫌だなあ。」という声が大多数ですが、子どもたちの心の強さや優しさも育てることができるのだなあと感じた今回の持久走大会でした。詳細は、次のページで！当日は、保護者、地域の皆様の温かいご声援ありがとうございました。また保健体育部の皆様もお手伝いありがとうございました。



3・4年生 800M



5・6年生 1000M

◆持久走大会(10/10)◆ おめでとうございます！



3年女子

1位 ○○○○さん
2位 ○○○○さん
3位 ○○○○さん

4年女子

1位 ○○○○さん
2位 ○○○○さん
3位 ○○○○さん



4年男子

1位 ○○○○さん
2位 ○○○○さん
3位 ○○○○さん

3年男子

1位 ○○○○さん
2位 ○○○○さん
3位 ○○○○さん



5年女子

1位 ○○○○ さん 1位 ○○○○ さん
2位 ○○○○ さん 2位 ○○○○ さん
3位 ○○○○ さん 3位 ○○○○ さん

6年女子

1位 ○○○○ さん 1位 ○○○○ さん
2位 ○○○○ さん 2位 ○○○○ さん
3位 ○○○○ さん 3位 ○○○○ さん

5年男子

1位 ○○○○ さん 1位 ○○○○ さん
2位 ○○○○ さん 2位 ○○○○ さん
3位 ○○○○ さん 3位 ○○○○ さん

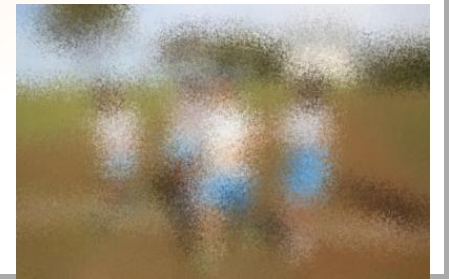
6年男子

1位 ○○○○ さん 1位 ○○○○ さん
2位 ○○○○ さん 2位 ○○○○ さん
3位 ○○○○ さん 3位 ○○○○ さん

心温まるエピソード②

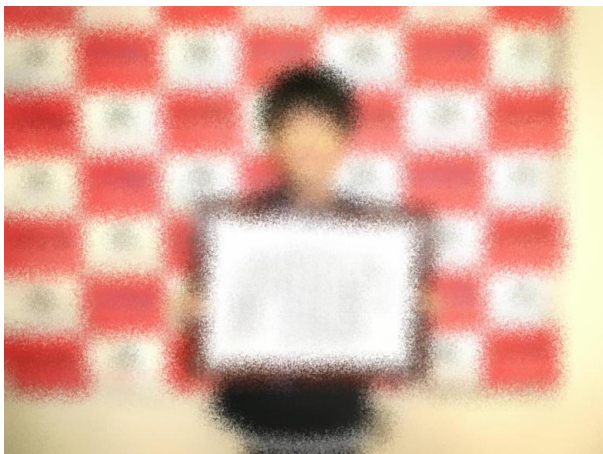
今年の持久走大会では、心温まる場面がたくさん見られました。

- ①友達に追い越されたことが悔しくて、ゴール寸前で動けなくなってしまった友達に、学級のなかまがそばに来て励まし、最後ゴールすることができました。
- ②自分のペースで最後まで頑張って走っている人に、個人的に「○○！頑張れ！」という応援の声や学級のまとまりとして「頑張れ！頑張れ！」という声がたくさん聞こえていました。また、ゴールした友達がそばにかけよって一緒に走る姿が輝いていました。
- ③あと少しでゴールなのに、違う方向へいってしまった友達をおんぶしてゴール。みんなの笑顔が素敵でした。
- ④途中で体調が悪くなったけれど（※体調に関しては保護者の方が対応してくださいました）、最後まで走りゴールした姿を見て、当日走らない予定だった児童が「走ってみる」と参加し、最後まで走り切ることができました。「やってみよう」という気持ちをもつこと、最後まで頑張ろうとする気持ちは今後の生活にも生きる大事なことです。素敵な場面がたくさんあった持久走大会でした。



飯小っ子の活躍

◆令和6年度「ごはんの日」キャッチフレーズ 優秀賞(10/6)◆



優秀賞

「おいしいな じいじのつくった
あきたまい」

(2年 ○○ ○○さんの作品)

※県のホームページ

「美の国あきたネット」にも掲載されています。

<https://www.pref.akita.lg.jp/pages/archive/69026>